



太平洋セメント



東洋埠頭株式会社

2024年9月26日

川崎臨海コンビナート地区における CCS 事業検討の連携開始について

太平洋セメント株式会社

東洋埠頭株式会社

太平洋セメント株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：田浦良文、以下「太平洋セメント」）と、東洋埠頭株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：原匡史、以下「東洋埠頭」）は、このたび太平洋セメントグループの株式会社デイ・シイ川崎工場（以下「デイ・シイ川崎工場」）で検討を進めている CCS 事業における液化二酸化炭素（CO₂）の港湾出荷について、東洋埠頭川崎支店の活用検討を共同で進めることとしました。

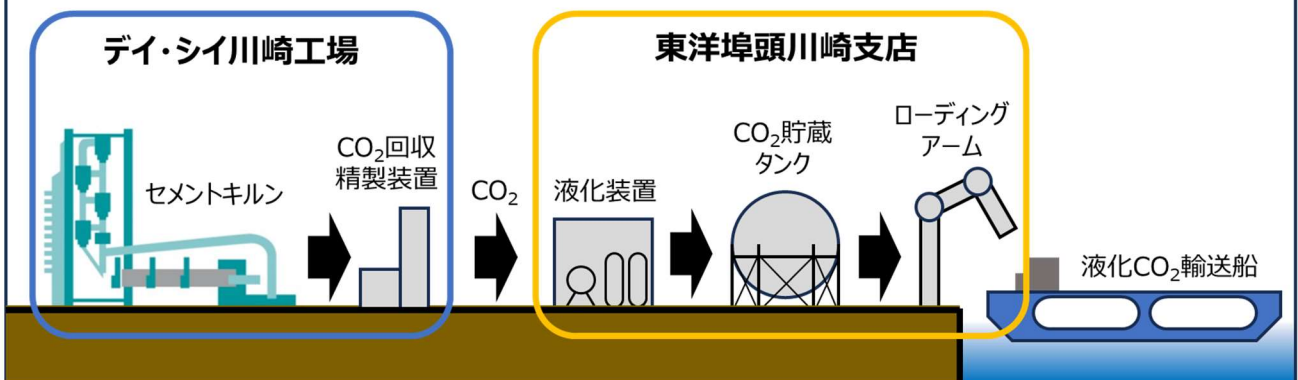
太平洋セメントは、2021年に「カーボンニュートラル戦略 2050」を公表し、サプライチェーン全体で 2050年カーボンニュートラルを目指すべく CCUS 技術開発に取り組んでいます。2023年8月には、各開発技術を実機実証レベルにスケールアップすべくデイ・シイ川崎工場をカーボンニュートラルモデル工場とする検討に着手^{※1}しました。また、太平洋セメントでは、昨年度に引き続き独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構が公募した「令和6年度 先進的 CCS 事業（二酸化炭素の分離回収・輸送・貯留）に係る設計作業等」（以下、「JOGMEC/CCS 事業」）を受託^{※2}し、C2SPキルン[®]を用いデイ・シイ川崎工場[®]で回収を計画している CO₂の海底地下貯留に向けた精製・液化、および出荷事業に関わる設備設計や事業可能性等の調査を進めております。

東洋埠頭は、埠頭会社最大手として長年にわたり川崎港湾地区を中心とした埠頭業に加え、陸海空の幅広い貨物を取り扱う倉庫業、荷役事業を担い、また将来のカーボンニュートラル及びサステイナビリティ社会実現に向け、時代を先取りした事業を展開してまいりました。

太平洋セメントグループと東洋埠頭は、川崎臨海コンビナート地区において石炭荷役・保管等で長年にわたり連携してきた実績もあり、今般、両社は JOGMEC/CCS 事業における液化 CO₂の港湾出荷基地として、東洋埠頭川崎支店を活用検討することについて合意しました。

本検討を契機として、首都圏における CCS の先導的なモデル事業を推進することにより、脱炭素社会実現に向け連携して取り組んでまいります。

川崎臨海コンビナート地区 C C S 事業モデル



※1 太平洋セメントプレスリリース 2023年8月7日付 「カーボンニュートラルモデル工場」構想の検討に着手

URL : <https://www.taiheiyo-cement.co.jp/news/news/pdf/230807.pdf>

※2 太平洋セメントプレスリリース 2024年9月4日付 「先進的 CCS 事業（二酸化炭素の分離回収・輸送・貯留）に係る設計作業等」の受託について

URL : <https://www.taiheiyo-cement.co.jp/news/news/pdf/240904.pdf>

<本件に関するお問い合わせ先>

太平洋セメント株式会社 総務部 I R 広報グループ

TEL. 03-5801-0334 FAX. 03-5801-0344 e-mail. ir-com@taiheiyo-cement.co.jp

東洋埠頭株式会社 広報部 I R 広報課

TEL. 03-5560-2711 FAX. 03-5560-2715 e-mail. kouhou@toyofuto.co.jp

以上